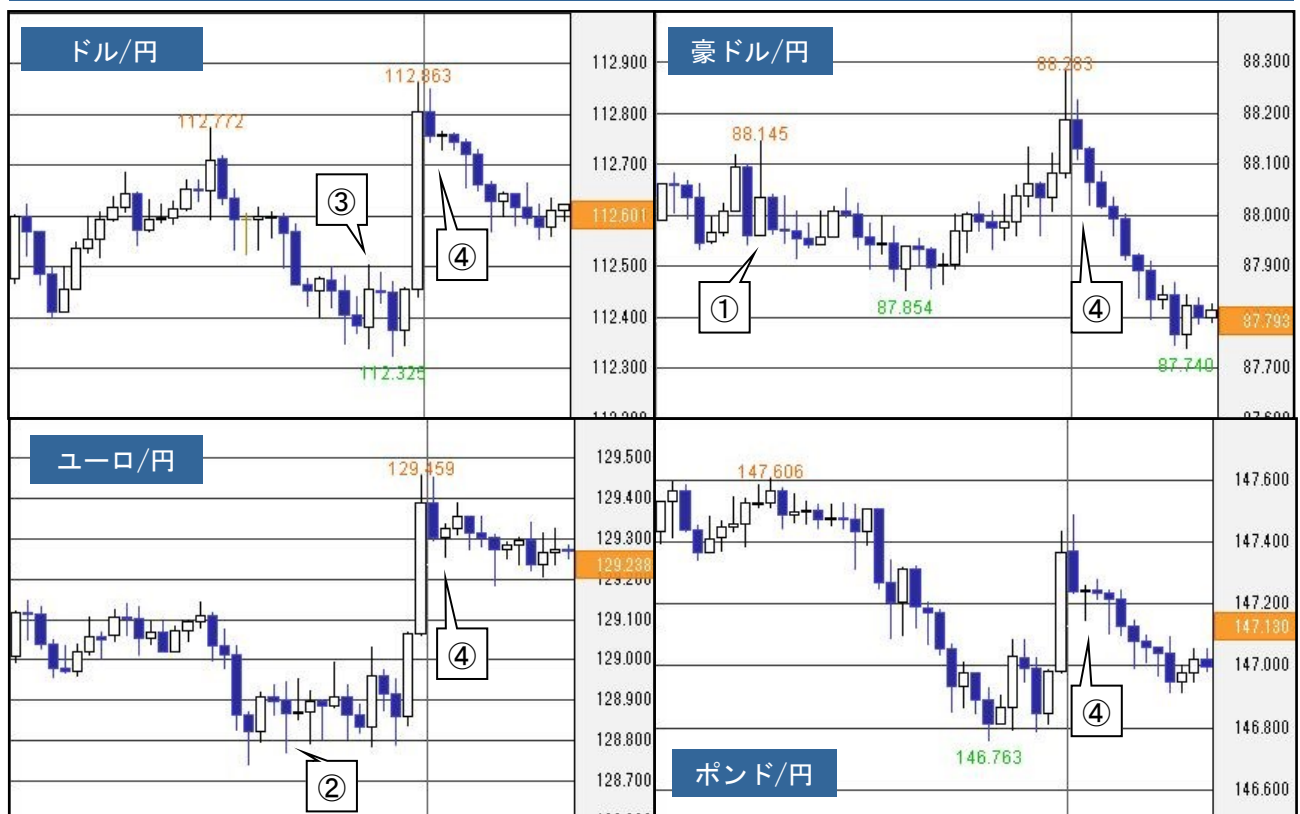


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

7月18日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、転換線下抜けで続落余地

17日(月)の為替相場



期間：17日(月)午前7時00分～18日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 中国6月鉱工業生産は前年比+7.6%、同小売売上高は前年比+11.0%といずれも予想(+6.5%、+10.6%)を上回った。また、中国4-6月期国内総生産(GDP)も前年比+6.9%と予想(+6.8%)を上回る伸びとなった。これを受けて一時豪ドル買いが強まったが、上海株が軟調に推移する中で上値は限られた。
- ② ユーロ圏6月消費者物価指数(HICP)・確報値は、速報値と同じ前年比+1.3%であった。ただ、5月の同+1.4%から減速し、伸び率は今年最低を記録。これを受けて独を中心に欧州国債利回りが低下する中、ユーロの上値は重かった。
- ③ 米7月NY連銀製造業景況指数は9.80と予想(15.00)および前回(19.80)を下回ったが、ドルの反応は小さく、ドル/円は安値圏でもみ合った。
- ④ ロンドン16時(日本時間24時)のフィキシングに向けて円売りのフローが持ち込まれたとの観測からドル/円やクロス円が上昇。しかし、米長期金利の低下や米国株の弱含みが重しとなり、いずれも伸び悩んだ。豪ドル/円については、原油価格の下落も重しとなり、反落した。

17日(月)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
休場	5755.470 (▼9.649)	3176.465 (▼45.952)	7404.13 (△25.74)	12587.16 (▼44.56)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21629.72 (▼8.02)	休場	2.731% (△0.013%)	1.270% (▼0.040)	0.581% (▼0.016)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3557% (△0.0001)	2.3141% (▼0.0178)	46.02 (▼0.52)	1233.70 (△6.20)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.700-113.200	128.300-129.900	87.100-88.200	146.200-148.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は前週14日安値(112.259円)を前に下げ渋るも、113円ちょうどを前に伸び悩み。前週末に発表された米国の消費者物価指数や小売売上高が予想を下回った事を受けて年内追加利上げに不透明感が漂っている。本日は日米で目玉となりそうな経済イベントが見当たらないため、上値の重いムードを払拭するのは容易ではなさそうだ。足元で日足の一目均衡表の転換線(執筆時113.375円)が上値抵抗となっており、終値で回復できない限り強気ムードに転じる可能性は低いと見る。なお下値の目処として、14日安値を更新した場合は基準線(同、111.639円)が挙げられる。

執筆者: 川畑

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/18(火)	10:30	○	(豪) RBA議事録	—	—
	17:30	◎	(英) 6月消費者物価指数(前年比)	+2.9%	+2.9%
	17:30	◎	(英) 6月小売物価指数(前年比)	+3.7%	+3.6%
	17:30	◎	(英) 6月生産者物価指数(前年比)	+3.6%	+3.4%
	18:00	○	(独) 7月ZEW景気期待指数	18.6	18.0
	18:00		(ユーロ圏) 7月ZEW景気期待指数	37.7	—
	19:45		(米) バンク・オブ・アメリカ(BOA)4-6月期決算	—	—
	20:30		(米) ゴールドマン・サックス4-6月期決算	—	—
	21:30		(米) 6月輸入物価指数(前月比)	-0.3%	-0.2%
	23:00		(米) 7月NAHB住宅市場指数	67	67
	29:00		(米) 5月対米証券投資	+18億USD	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。